

栃木県農業大学校 令和8年度学校評価 シート

目指す方向 魅力ある農大づくり ～農大の価値を高め、とちぎの農業を担う人材を育成する！～

重点目標	現状と課題	評価項目	具体的方策	取組項目		経過・達成実績	達成度	次年度の課題と改善方向	関係者評価委員会 からのコメントと回答	主担当
		評価指標		学部・塾	内 容					
3 進路指導の強化	（現状） ○農業生産学部卒業生の就農率（研修後就農を含む）は、前年より約2ポイント上昇し、44.8%となった。農業経営学部生は100%であり、R 7 年度卒業生全体での就農率は51.5%となった。 なお、進路決定率は100%であった。 ○R7未来塾研修修了生（専門研修コース）の農業従事率は87.5%であった。 ○就農を希望した学生の就農実現率は97.1%（33/34名）であった（1名は就職）。 ○生産学部卒業生の雇用を含めた就農率（研修後就農を含む）は各科、コース、年度によって変動が大きい。 ○全入学者に占める非農家出身の学生の割合は6割を超える状況が続いている。 ○特に非農家出身の学生では雇用就農を希望する例も増加しているが、畜産部門以外からの求人が少なく、希望する分野と求人が必ずしもマッチしていない。	進路 ・農業生産学部就農率計 6 0 % 進路決定率 1 0 0 % （就職率、農業関連団体・企業就職率） ・未来塾 専門研修修了生農業従事率 8 0 % 就農実現率 8 0 % （就農を目指し入学した学生のうち就農出来た者の割合）	(1)進路希望の把握と的確な進路指導	生産学部 経営学部 未来塾	○個別面談の充実					学生部会
					・ 1 年生に対する早期面談の実施(4～5月)					
					・ 先進的経営体実習後のフォローアップ面談による就農意欲の確認（10月）					
					・ 学生の希望や特性に応じた就農、就職活動の個別支援					
				○就農希望者への支援の充実						
・ 1 年生を対象とした雇用就農理解促進研修会等の開催(11月)										
・ 2 年生を対象とした雇用就農求人先とのマッチング支援										
○4 年制大学等への編入希望者に対する支援					学生会					
・ 各担当における、願書作成、過去問等による小論文及び面談指導の実施										
○資格取得の支援								学生部会		
・ 農業機械基本実習Ⅰ、Ⅱ実施										
・ 資格取得教養講座（毒劇物取扱者、ワープロ検定、英会話、危険物取扱者及び商業簿記、ガス溶接研修、家畜人工授精師養成講習 等）実施										
・ 資格取得研修（フォークリフト、アーク溶接、ガス溶接）の受講調整等										
・ 刈り払い機取扱い技能講習の実施										
○就農促進講座等の活用		(2)就農イメージの早期確立		○就農促進講座等の活用					教務部会 学生会	
・ 農業振興事務所と連携した就農支援を行う就農促進研修会の開催(6月)										
・ 農場の現場で活躍する卒業生を講師に迎えた就農促進シンポジウムの開催（7月）										
・ 先進的経営体実習の実施（8月下旬から1ヶ月間）										
○農業法人等へのアプローチ				○農業法人等へのアプローチ					学生会	
・ 求人希望する農業法人等に対する雇用就農理解促進研修会のPR（10月）										

重点目標	現状と課題	評価項目 評価指標	具体的方策	取組項目		経過・達成実績	達成度	次年度の課題と改善方向	関係者評価委員会 からのコメントと回答	主担当
				学部・塾	内 容					
	(課題) ●農業大学の設置目的を踏まえ、就農への誘導等にしっかりと取り組み、就農率の向上を図る必要がある。 ●非農家出身者でも就農や農業関係団体への"就職に強い進学先"としての評価を高めるため、進路決定率100%を達成していく必要がある。 ●就職活動については、農業法人や企業等と連携を密にし、学生に対する支援を積極的に行う必要がある。 ●就職であっても将来的にUターン就農されるよう、意識付けを図っていくことが必要と考えられる。 ●就農する学生・塾生に対しては農業振興事務所及び就農コーディネーターと連携した営農設計書作成支援や農地確保など、農大内外での協力支援が必要である。		(3)雇用就農等幹旋機能の強化		○求人情報等の充実 ・就職先情報データの一元管理 ・Google Classroom等を活用した学生への求人情報の迅速提供					学生会
					○雇用就農・就職支援 ・農業振興事務所や農業法人会等と連携し、雇用を希望する農業法人の情報を収集 ・面談等による雇用就農希望者の把握と受入農業法人等とのマッチング支援 ・農業関連企業を主とした企業説明会の開催（4月） ・農業法人経営者を招いた雇用就農理解促進研修会の開催（11月）					学生会
				生産学部 経営学部 未来塾	○農業振興事務所や関係機関との連携による就農支援 ・農振事務所担当との面談や就農支援会等によるオーダーメイド型就農支援の実施 ・就農希望者の就農コーディネーターとの面談実施 ・情報の共有ツール（Back log）を活用した就農支援 ・営農設計等の授業内で「我が家の営農設計」作成指導					学生会 教務部会 未来塾担当